



私たちの暮らしを守ってくれる仕事のひとつに消防があります。「火事と救急は119番」とよく耳にしますが、普段はどんな仕事をしているのでしょうか。

11月26日から1週間、全国火災予防運動が行われています。これからは火事が起きやすい季節。そこで消防署の一日をスケッチしてみました。

一日の始まりは 大交代

ピーツ、7時50分署内に大きな音が走った。「大交代」という放送。隊員は駐車場に整列、号令とともに消防車や救急車の点検が始まった。

24時間の長い勤務を終え、次の隊員に引継ぐための儀式であった。その後事務室では、工事のための通行不能場所などの打合せが入念に行われた。



通信指令室では、それぞれの病院の受け入れ体制を確認していた。

これで万一の事故にも万全。



体力の維持を

8時30分、特別救助隊の訓練が開始された。

高い建物からのケガ人の救出や、交通事故のための救助を行う特殊部隊であるだけに、日ごろの訓練は欠かせない。

子どもたちとのふれあい

「避難訓練に行ってください」という報告のあと、警防課が署をあとにした。訓練は白浜保育園、すでに横芝分署の消防車が到着していた。

地震のあとの火災を想定した訓練は、隊員のきびしい視線を受けながら、子どもたちの避難と保母さんの消火訓練が行われた。

「先生の言うことをよく聞き、じ

